



歴史のドアを開けよう

Natural History  
第58回

# いしかり博物誌

■文化財課 ☎72-6123  
bunkazaih@city.ishikari.hokkaido.jp

■石狩浜海浜植物保護センター ☎60-6107  
ihama@city.ishikari.hokkaido.jp



▲日露戦争凱旋式(花畔尋常高等小学校校庭)

## 凱

凱旋門といえば、パリの凱旋門が有名ですが、石狩にも「凱旋門」があったとしたら驚くでしょうか。

現在市教委で整理している高島家文書の中に「凱旋門建築費決算ノ件(明治38年11月25日)」という文書があります。日露戦争が終わり、出征していた兵士を迎えるために本町地区の入口に建てた「凱旋門」の決算書です。同じ高島家文書の「軍隊歓迎之件(明治38年10月30日)」では、この門は「緑門」と呼ばれています。緑

# 「石狩の凱旋門」 がいせんもん

門とは、骨組みに笹や松の枝などをつけてつくるアーチのことです。写真は、花畔尋常高等小学校で行われた「日露戦争凱旋式」ですが、この写真の右側に写っているアーチが「緑門」です。もしかするとこのアーチも「凱旋門」と呼ばれていたかもしれません。

## 戦

勝を記念して門を建て、将兵を迎えるという凱旋門の起源は、はるかローマ時代にさかのぼるといいます。橋爪伸也氏によれば、日本では、もともとこのような風習はなかったのですが、明治以降、広く行われるようになり、特に日露戦争の際には凱旋門ブームが起こり、日本中に凱旋門が建てられたとい

## 今

全国で凱旋門を建て、熱狂的に出征兵士を迎えた一方、日露戦争の戦死者は、約8万8千人に上りました。石狩でも、10人の方が戦死しています。

年は、日露戦争が始まってからちょうど100年目に当たりますが、すでに遠くなったこの戦争も忘れはならないでしょう。

(工藤義衛)

◀高島家文書の文面

『凱旋門建築費決算ノ件』  
 過搬各区有志ヨリ寄付ヲ以テ建設ヲナセル凱旋門収支決算左記ノ通りニ有之候条此段御通知候也  
 (中略)  
 支出ノ部  
 金二十五円 凱旋門建設請負金  
 金二円五十銭 額面  
 金二十八銭 細引二本代  
 金二円六十銭 国旗大小三枚代  
 計金三十円三十八銭  
 (後略)

■参考文献:『祝祭の帝国』 橋爪伸也 1998 講談社選書メチエ  
■写真:『21世紀に伝える写真集』 石狩市教育委員会編 21ページ「日露戦争凱旋式」より

カメラくんが行く! **ひろい撮り**



まちの主な出来事を写真で  
振り返るコーナーです。



**8 2,3** 風力発電を体験

夏休みに、親子で環境やエネルギーについて考えてもらおうと2日間にわたって企画された特別講座。講師に早稲田大学教授で、工学博士の橋詰匠はしづめたくみ氏を迎え、風力発電の仕組みを学ぶために、実物の10分の1の模型作りに挑戦しました。弘明君と直之君兄弟も「難しいけど、面白い」と、熱心に、模型装置の組み立てに取り組んでいました。



**8 7** 石狩弁天釣鮫演義

弁天歴史公園で、今年6回目となる「弁天まつり」が開催されました。その中で小中高生たちによる劇が披露されました。その名も「石狩弁天釣鮫演義つりさめえんぎ」。6月からワークショップを重ねて練習してきた子どもたちは、サケや弁天様などにふんした衣装に身を包み、少々緊張しながらも練習の成果を発揮していました。

劇の最後に、子どもたちによるチョウザメの行列が現れると、詰め掛けた観客からは大きな歓声が上がりました。

**8 1~30** 古代人のアクセサリー

いしかり砂丘の風資料館では、8月いっぱい石狩市内をはじめ、道央部の遺跡から出土した耳飾りや首飾りなどを展示しました。大きな玉を連ねた首飾りを前に「重くなかったのかなあ」と、首をかしげる子どもたちの姿もありました。

